

外科研修

外科・消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科ローテーション研修目標

胸部、腹部、乳腺内分泌疾患を中心に、外科治療を必要とする緊急または予定待機症例について、他診療科との連携を緊密にはかり、患者さんを全人的に診断・治療する能力を身につける

経験すべき病態・疾患・検査・治療法

1. 基本検査法：症状、病態に応じて適切に診断を確定するために

- ① 一般検査（血液生化学、尿一般等）を実施できる
- ② 特殊検査の計画をたてられる
上部・下部消化管透視検査、腹部超音波検査、上部・下部内視鏡検査、
CT、MRI、MRCP、ERCP、PTCD

検査に参画し経験する

2. 全身管理と救急蘇生：症状・病態に応じた治療を実施するために

- ① 感染予防の理解と実践（滅菌法、消毒法、清潔操作等）を実施できる
- ② 静脈ラインの確保を実施できる
- ③ 中心静脈ラインの確保を実施できる
- ④ 末梢点滴・高カロリー輸液法を説明し実施できる
- ⑤ 各種薬剤（抗生物質、鎮痛剤等）を説明し実施できる
- ⑥ 気道確保法の理解（気管切開、気管カニューレ挿入）を実施できる
- ⑦ 人工呼吸器の使用法を説明し実施できる
- ⑧ 心肺蘇生法を実施できる
- ⑨ 胸腔穿刺、腹腔穿刺法を実施できる

上級医師の指導のもと現場を経験し手技を実施する

3. 術前・術後対策：手術を安全かつ円滑にすすめるために

- ① 術前管理
インフォームドコンセントのもとに患者、家族への病態説明と精神的サポートができる
- ② 術前診断に基づく手術適応および術式の決定に参加する
- ③ 術前患者全身機能評価と他科への診察治療依頼の適応について判断する場に参加できる
- ④ 周術期指示法（手術申込、麻酔申込、術前術後点滴・検査指示等）を実践することができる
- ⑤ 術後管理
1) リカバリールームでの機器使用（人工呼吸器の使用等）を実践できる
2) 呼吸・循環・肝機能・腎機能の評価ができる

- 3) 輸血の適応の決定ができる
- 4) 手術創の清潔管理ができる
- 5) 各種ドレーン・チューブ類の管理に参加できる
- 6) 疼痛処置ができる
- 7) 患者、家族への病状説明と精神的サポートができる

術前・術中・術後の現場を上級医師と経験する

4. 手術：手術中の手技を理解し身につけるために

- ① 手術対象臓器の解剖と病態の把握につとめる
- ② 滅菌操作を習得する
- ③ 手術機器の使用法について把握する
- ④ 切開・止血・結紮・縫合・ドレナージ等の基本的な外科手術手技を習得する
- ⑤ 体表外科手術（ヘルニア、痔核等）方法を把握する
- ⑥ 腹部外科手術（胆石症、早期胃癌、早期大腸癌等）方法を把握する
- ⑦ 胸部外科手術（自然気胸等）方法を把握する
- ⑧ 乳腺内分泌外科（乳癌、甲状腺腫、バセドウ氏病等）方法を把握する

手術現場を経験し手術の方法・術中操作につき習得する